

神田香織のおしゃべりタイム
福島出身の講談師&ジャーナリストが緊急対談

東電裁判から見えてきた“福島 の現状と隠された真実”

6月21日(木)
18時~20時
本郷文化フォーラム

文京区京区本郷3-29-10 飯島ビル1階
☎03(5804)1656 地下鉄丸の内線・大江戸線⑤出口「本郷三丁目」徒歩5分
本郷三丁目交差点→春日通りを御徒町方面へ歩く(お菓子「三原堂」→セブンイレブン→東京ビューティアート専門学校→本郷中央教会の左横を右折→整骨院→飯島ビル1階「HOWS・小川町企画」の看板あり。

参加費 1000円

ゲスト 藍原寛子さん

問合せ 香織倶楽部・高橋

090(4385)7973

ta-yo@hyper.ocn.ne.jp"

後援 NPO法人ふくしま

支援人と文化ネットワーク



ジャーナリスト・Journalist

藍原寛子 あいはら ひろこ

福島市生まれ、福島民友新聞社で取材記者兼デスク。米国マイアミ大学、フィリピン大、アテネオ・デ・マニラ大等で客員研究員として学ぶ。

2010年「Japan Perspective News 株式会社」を設立。国内外のニュース報道、取材、リサーチ、翻訳、編集など、フリーランスのジャーナリストとして医事問題を中心に活躍中。最近シンガポール、フランス、アメリカのテレビ局や新聞社の地元プロデューサーとして外国メディアとともに取材・報道。

神田香織さんとは、福島民友新聞いわき支店在勤時からの知り合い。6月10日に開催された「原発問題を考える埼玉の会」に講師として出演された際、神田香織さんと意気投合。当日は、東電裁判を毎回傍聴、取材している藍原さんと、3・11後、「福島の祈り」等で母子避難者の苦難を講談で語ってきた神田香織さんが、「復興」の名の下に見えづらくなりつつある、福島の現状、隠された真実を福島出身の二人が歯に衣を着せず大いに語り合う。

